魚沼市立　伊米ヶ崎公民館だより　第58号
2022年（令和４年）1月号

謹んで新年のお慶びを申し上げます

新年あけましておめでとうございます。穏やかなよいお年をお迎えのことと存じます。令和４年も「公民館活動」が皆様のご期待に添える内容となるよう努力してまいります。

大浦新田　梅田幸三様　作

今年の干支は「寅（とら）」中国伝来の十二支は、もともと植物が循環する様子を表しており、その年の特徴につながるといわれています。寅は十二支の3番目で、子年に新しい命が種の中で芽生えはじめ、丑年には種の中で育つがまだ伸びることができない。**寅年は春が来て根や茎が生じて成長する時期、草木が伸び始める状態**だとされています。

過去の寅年には、惑星探査機「はやぶさ」が帰還。その前は長野オリンピックの開催、昭和４９年は気象庁「アメダス」運用開始、昭和３７年には東京タワー完成など記憶に深く残るイベントがありました。今年も、新型コロナウイルスの対策で我慢が必要かもしれませんが、地道に歩むことで新たな発展につながる年にしていきたいものです。お互いに頑張りましょう。

さて、新年度から伊米ヶ崎小学校で地域とともに育む「コミュニティ・スクール」事業が新たにスタートいたします。その活動に協賛する方向で子ども達とともに歩む公民館、お年寄りとともに楽しむ公民館を目指し、その上で地域での人と人とのつながりを深めていただけたらと思います。子ども達やお年寄りの笑顔あふれる公民館のある地域は、**魅力にあふれる地域となるのではないでしょうか。**

今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

公民館長

１月のギャラリー紹介

古式豊かな「わら細工」作品展

梅田幸三さん・滝沢幸夫さん・吉田延吉さん制作のわら細工作品を展示しています。

展示期間・時間は
１月５日（水）～２７日（木）
平日９時～１６時まで

囲炉裏端

雪道で履いたスッペ

裏面へ

主な展示作品のご紹介

昭和３０年代までの魚沼地域ではワラは生活面でたいへん重宝されていました。今回は身の回りで必要とされたワラで作られた品々を展示いたします。

・雪よけや雨具としてブウシやミノ。

・履物としてはワラゾウリ、足中、スッペが主に使われ、力仕事や川仕事にはワラジが使われていました。

・生活面では、ワラで編んだツヅは、取れた魚を串焼きにしてこれに刺し、囲炉裏の上で燻製保存するのにつかわれました。

・生活必需品として多くの鍋敷（なべしき）が考案されて、つば釜用のドーナツ型のものや鍋の下に敷くものなど、マキ等を使用するため鍋底のススが床に付かない対応でもありました。

・荷物を背負う時に背中に当てて使ったセナッコウジと荷縄、野菜などを運ぶタスなど、生活を向上させるための道具がワラで作られています。

・米の保管と運搬に使われていた米俵。４斗（６０ｋｇ）の米を入れるワラで編まれた俵には古い歴史があります。

しめ縄づくり教室を開催しました

特別に栽培された魚沼産のワラを使って伝統的な正月用のしめ縄を作る教室を１２月１１日に開催しました。

この教室は毎年この時期に計画し、今回は市内から、今回が初めての方から毎年参加している方まで１６名の参加がありました。

教室では大浦新田の梅田幸三さんと梅田佳英さんを講師にお招きし、一人３本のしめ縄が作られる量のワラと紐、飾りなどが配られました。

講師から、しめ縄は特別なもので左へねじる「左綯い（ひだりない）」で行うよう説明があり、実際にしめ縄を作りながらわらの束ね方や、縄をなう手のしぐさなど丁寧に説明され、参加者は慣れない作業に四苦八苦しながらも全員がしめ縄を作ることができました。「来年は手作りのしめ縄を飾ることができます」と話されていました。

現在でもその文化が残る正月のしめ飾り。玄関先に飾られるしめ飾りには「年神様（としがみさま）」を迎え、家内安全や無病息災を願うという意味がある。

門や玄関前に飾る門松は、年神様が家へ尋ね入るにあたっての目印だとされている。一年中落葉しない松、成長が早く生命力の強い竹、新春に開花し、年始にふさわしい梅と三つの縁起物が用いられている。

（ウィキペディアより）

昔の雪国の暮らしに欠かせなかったわら細工。幼少時代には見慣れたものでしたが、今、手に取ってみると古い記憶がよみがえってくるようです。

鎌田

これからのイベントご案内

◎わら細工作品展
１月５日（水）～１月 27 日（木）

○星　義廣　写真展
２月３日（木）～２月 24 日（木）

○「堀之内絵画クラブ」作品展
３月１日（火）～３月 30 日（水）

伊米ヶ崎共和国HPへのアクセス方法
伊米ヶ崎共和国　検索
Yahoo!・Googleの検索窓への入力
スマホ・タブレットから　パソコンから

〒 946-0037　新潟県魚沼市虫野 59 番地　TEL:025-792-0082　E-mail:imegasaki-ph@city.uonuma.lg.jp